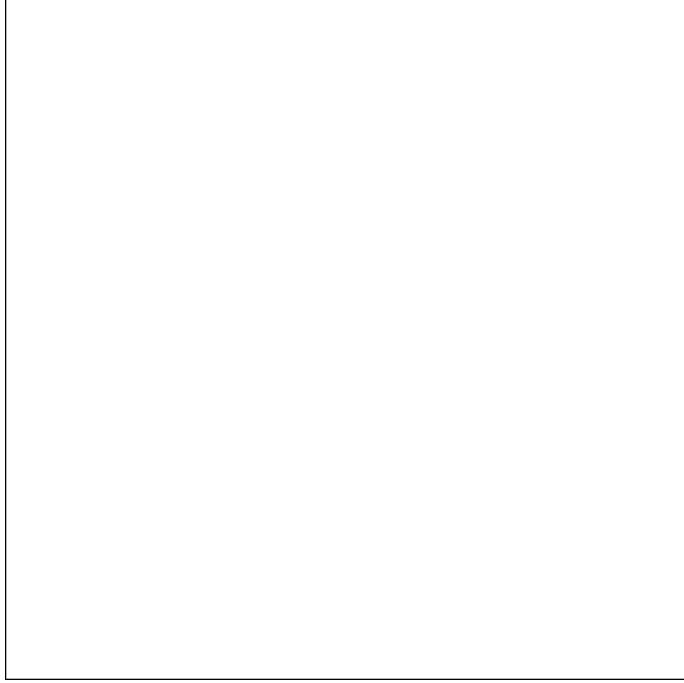


お仕暮き



✎ Adelheid Marie Bwire
✉ Melany Pietersen
📄 Noriko Shibata
🗨️ 日本語
🇯🇵 ja



Global Storybooks

globalstorybooks.net

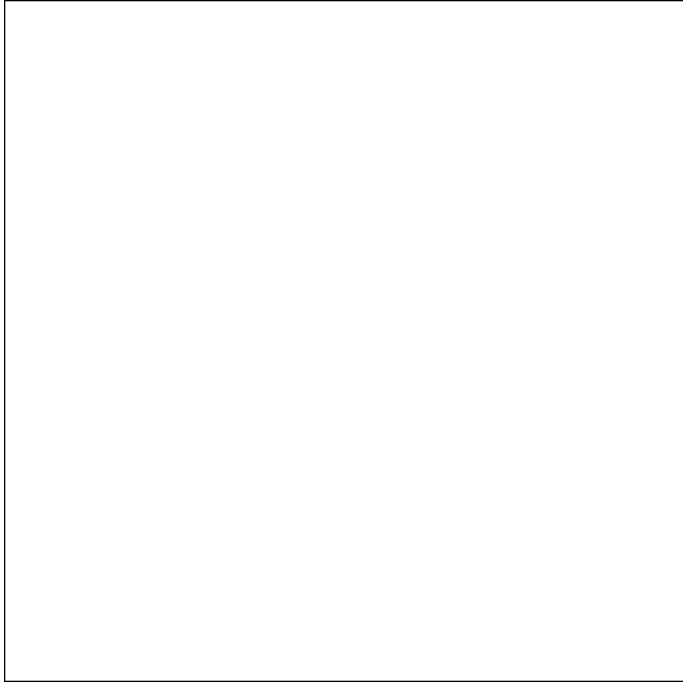
お仕暮き

✎ Adelheid Marie Bwire
✉ Melany Pietersen
📄 Noriko Shibata



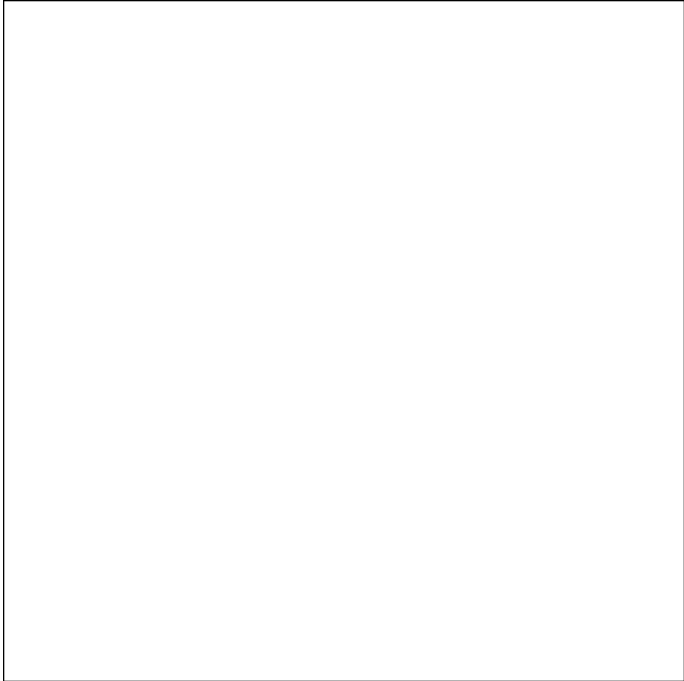
This work is licensed under a Creative Commons
[Attribution 3.0 International License](https://creativecommons.org/licenses/by/3.0).
<https://creativecommons.org/licenses/by/3.0>





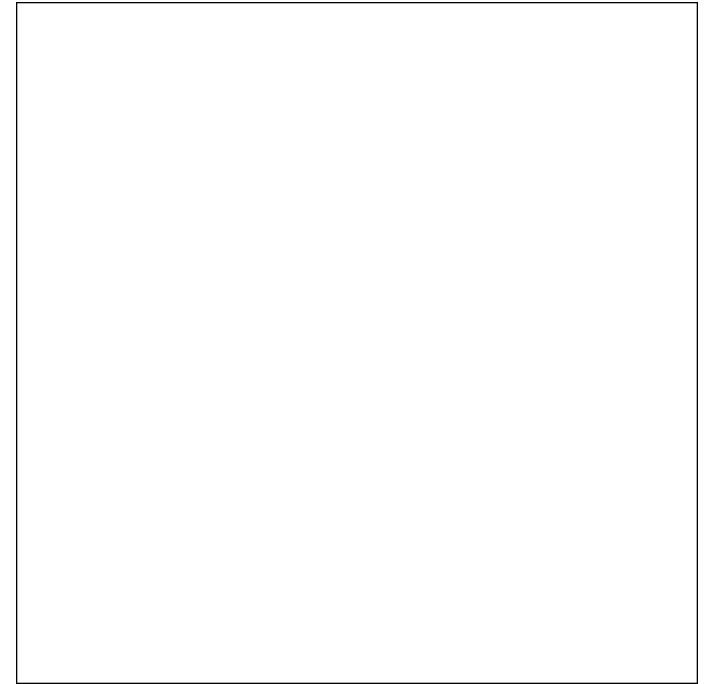
ある日、お母さんは、果物をたくさん手に入れました。

「私たち、いつも果物を食べられ
るの？」と尋ねると、お母さん
は「今夜にでも食べましょう」
と说了ました。



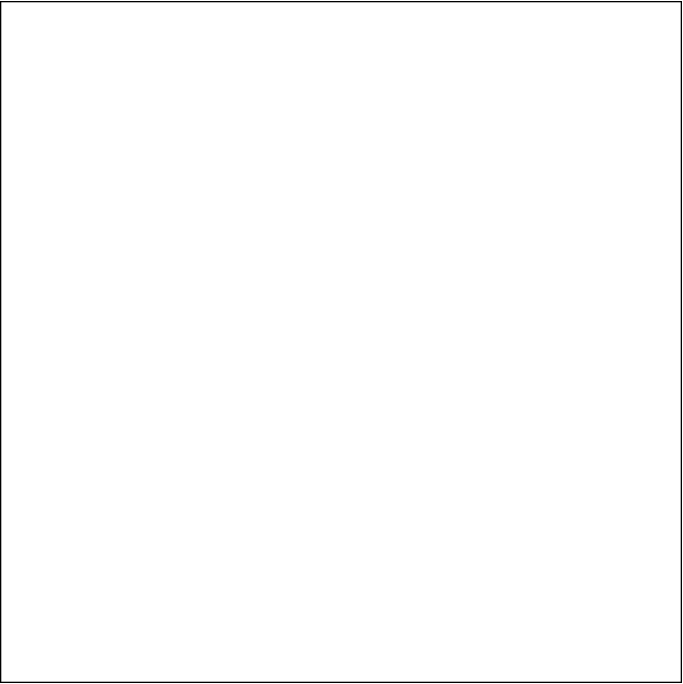


お兄ちゃんのラヒームは、食いしんぼう。全ての果物を味見して、たくさん食べてしまいます。

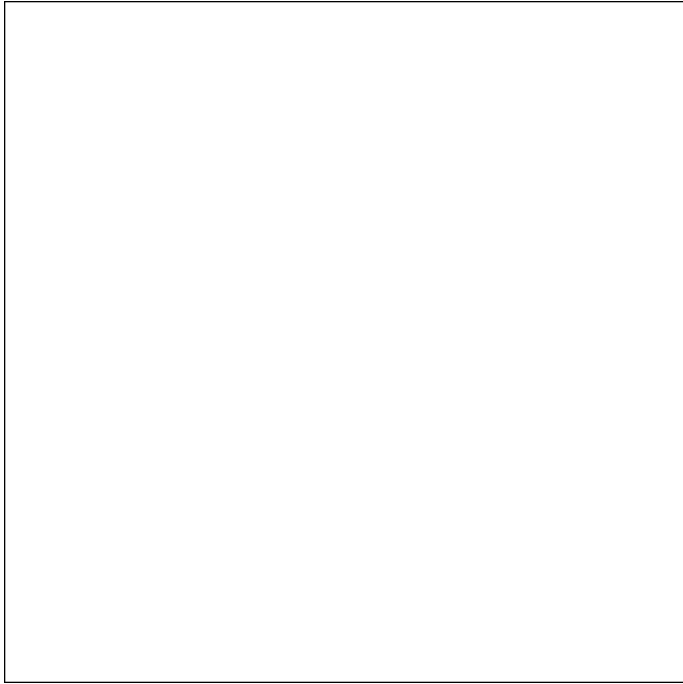


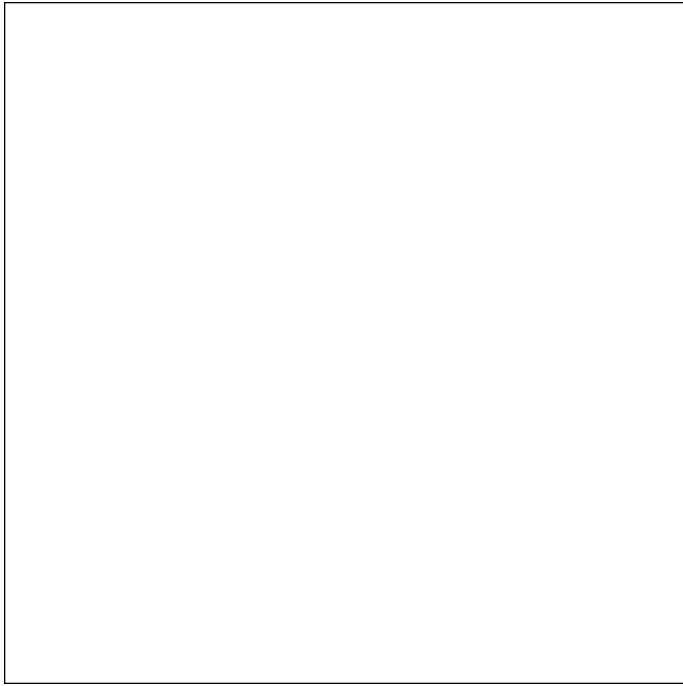
その後、ラヒームはみんなに謝りました。「僕はもう二度と欲張ったりしないよ」と約束し、みんなもラヒームを信じることにしました。

「ほら見て、マレーン見た
ら!」弟が叫んでいます。「マ
レーンはお行儀が悪くて、わか
りませんよ」と私は言いまし
た。

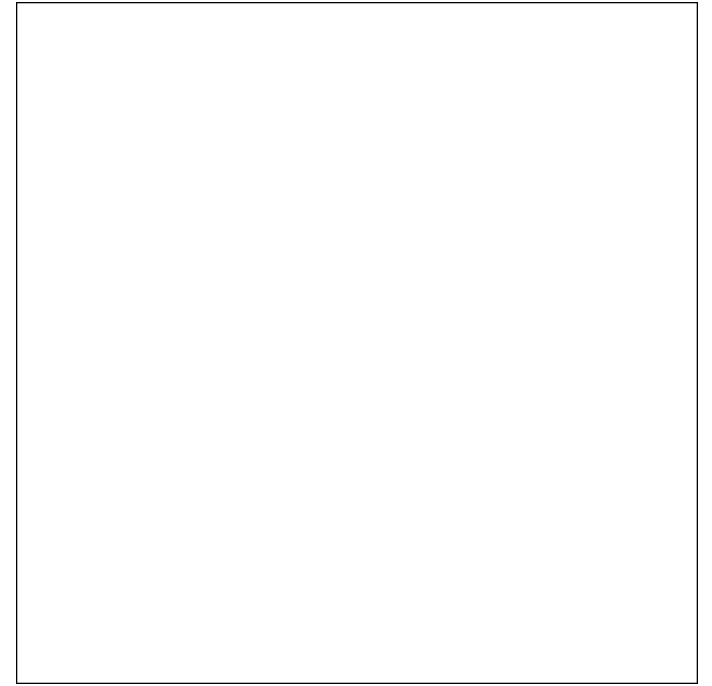


お母さんは、こうなることか
わかっていました。果物は、マ
レーンにお置きをしているの
です!





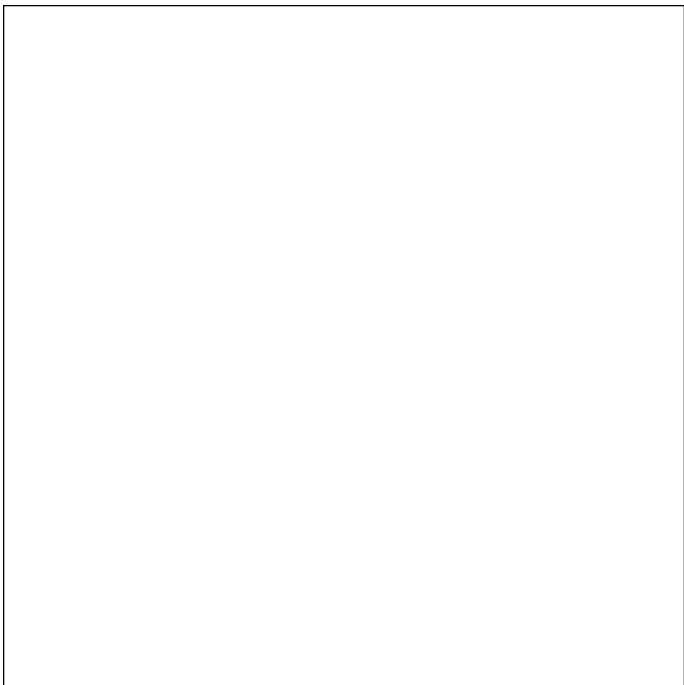
お母さんは、ラヒームのことを怒っています。



「おなかがとても痛いよ」と小さな声でささやきました。

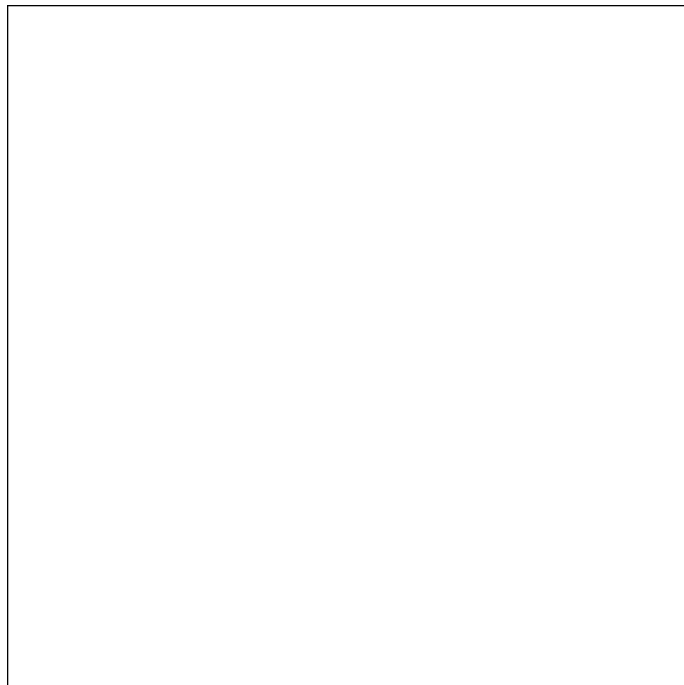
さん。

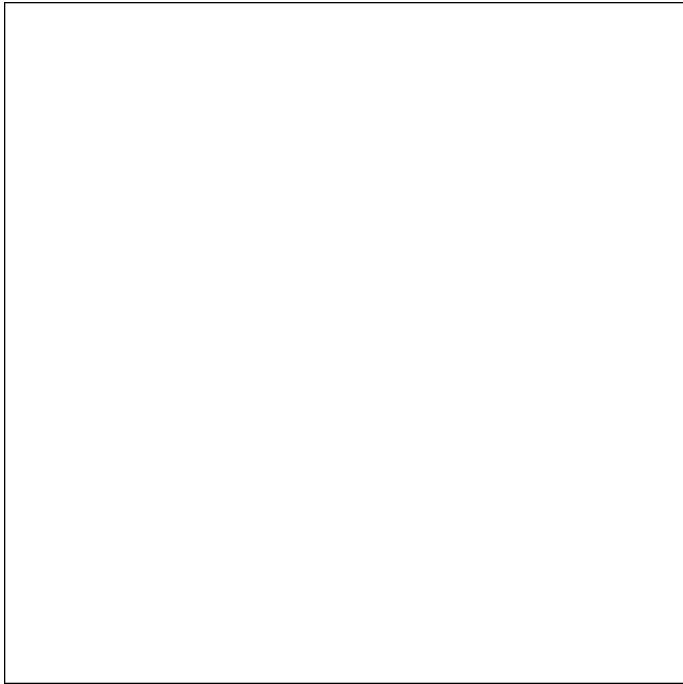
私たちもトイレに腹を立て
います。でも、トイレは自分
のしたことを悪いと思っていま



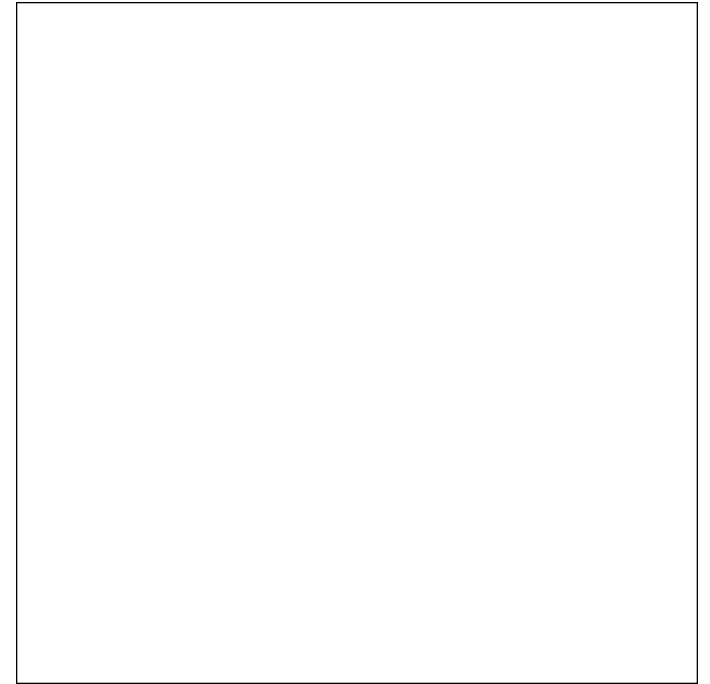
始めます。

トイレは、気持ちが悪くなり





「ラヒームにお仕置きをしないの？」弟は、お母さんに尋ねました。



「ラヒーム、もうすぐ自分のしたことを後悔するわよ」とお母さんは、言い聞かせました。